

DNA鑑定報告書

見本(ガイドライン鑑定)

報告書作成日 2011/6/30

DDCは、FQS-International, ISO/IEC-17025, AABB, CAP, CLIA, NYSDOH, 及び ASCLD/LAB-International より認証または認定を受けています。※

case	8888888	母	子	擬父	
氏名		●●●●	○○○○	▲▲▲▲	
登録No.		SO-00000-10	SO-00000-20	SO-00000-30	
生年月日 - 人種		1975/8/8 アジア人	2011/1/11	1972/10/15 アジア人	
サンプル採取日		2011年06月26日	2011年06月26日	2011年06月26日	
Test No.		8888888-10	8888888-20	8888888-30	
ローカス	父性指数	DNA型		DNA型	
D3S1358	2.38	15	16	15	17
D1S1656	29.41	13	18.3	16.3	18.3
D2S441	1.90	10	11	10	11
D10S1248	1.98	12	13	13	14
D13S317	8.04	11	12	12	13
Penta E	3.07	8	12	11	12
D16S539	1.87	9	12	11	12
D18S51	10.61	13	17	13	18
D2S1338	6.60	19		19	25
CSF1PO	0.79	11	12	11	12
Penta D	4.74	10		10	13
TH01	1.41	6	7	6	9
vWA	2.36	16		16	18
D21S11	1.71	30		30	32.2
D7S820	2.89	12		8	12
D5S818	1.90	10	14	12	14
TPOX	1.11	9	11	8	9
D8S1179	6.66	13	14	14	15
D12S391	5.43	20	21	17	20
D19S433	1.60	13.2	14	13.2	14
FGA	8.56	22	23	19	22
D22S1045	0.87	15	16	15	16
Amelogenin		X		X	Y

RN:888888

解説(鑑定主文)

見本

総合父性指数
父権肯定確率47,629,965,087
99.999999997%

擬父、▲▲▲▲は、子、○○○○の生物学上の父である可能性から排除されない。
上記に記載した22の異なるDNAローカスから得られた父権肯定確率は、99.999999997%である。
この父権肯定確率は、アジア人種の未検査無作為一般集団との比較の上で算出された。(検査前の確率を0.5と推定)
(上記結果より、相手方▲▲▲▲は申立人○○○○の生物学上の父であると極めて強く推定できる。)

2011年06月30日 鑑定人が署名、宣誓したことを証明する/

この結果解説は報告された通りで間違いなく、上記鑑定はAABBによって規定されたDNA鑑定ガイドラインに沿って行われたものであることを証明します。

オハイオ州公証人登録署名及び刻印

オハイオ州公証人 Donna L. Dougherty

2016年05月08日 まで有効の印

..... 登録署名

博士

※ FQS-International(科学的犯罪捜査管理局), ISO/IEC-17025(国際標準化機構), AABB(米国血液銀行協会), CAP(米国病理医師会), CLIA(臨床検査機関改善修正条項), NYSDOH(NY州保健局), ASCLD/LAB-International(米国犯罪捜査機関理事組合/研究機関認可委員会)

DNA鑑定報告書

見本(ガイドライン鑑定)

報告書作成日 2011/6/30

DDCは、FQS-International, ISO/IEC-17025, AABB, CAP, CLIA, NYSDOH, 及び ASCLD/LAB-International より認証または認定を受けています。※

case	8888888	母	子	擬父
氏名		●●●●	○○○○	▲▲▲▲
登録No.		SO-00000-10	SO-00000-20	SO-00000-30
生年月日 - 人種		1975/8/8 アジア人	2011/1/11	1972/10/15 アジア人
サンプル採取日		2011年06月26日	2011年06月26日	2011年06月26日
Test No.		8888888-10	8888888-20	8888888-30
ローカス	父性指数	DNA型		DNA型
D3S1358	1.38	16	18	15 16
D1S1656	0.00	15	16	15 18.3
D2S441	0.00	14	15	13 15
D10S1248	0.00	14	17	13 17
D13S317	0.00	9	10	9
Penta E	0.00	11	15	5 15
D16S539	3.90	12	13	9 13
D18S51	3.22	14		14
D2S1338	0.00	20	26	19 20
CSF1PO	1.66	10	12	10 12
Penta D	3.62	9	12	10 12
TH01	0.00	6	9	6
vWA	0.00	14	18	14
D21S11	2.38	29		29
D7S820	0.00	10	11	10 11
D5S818	0.00	10		10
TPOX	0.00	10	11	8 10
D8S1179	1.88	13	16	13 16
D12S391	0.00	19	22	17 19
D19S433	4.19	14		14
FGA	0.00	22	25	19 25
D22S1045	1.39	11	17	15 17
Amelogenin		X		X Y

RN:888888

解説 (鑑定主文) **見本** 総合父性指数 **0**
父権肯定確率 **0%**

擬父、▲▲ ▲▲ は、子、○○ ○○ の生物学上の父である可能性から排除される。
 擬父は、子に観察された生物学上の父由来と考えられる遺伝マーカー (DNA型) が欠乏している。
 鑑定結果は、D1S1656,D2S441,D10S1248,D13S317,Penta E,D2S1338,TH01,vWA,D7S820,D5S818,TPOX,D12S391,FGA,
 DNAローカスによって得られたものである。父権肯定確率は、**0%**である。
 (上記結果より、相手方▲▲▲▲は申立人○○○○の生物学上の父でないと極めて強く推定できる。)

2011年06月30日 鑑定人が署名,宣誓したことを証明する/

この結果解説は報告された通りで間違いなく、上記鑑定はAABBによって規定されたDNA鑑定ガイドラインに沿って行われたものであることを証明する。

オハイオ州公証人登録署名及び刻印

オハイオ州公証人 Donna L. Dougherty

2016年05月08日 まで有効

..... 登録署名

博士

※ FQS-International (科学的犯罪捜査管理局), ISO/IEC-17025 (国際標準化機構), AABB (米国血液銀行協会), CAP (米国病理医師会), CLIA (臨床検査機関改善修正条項), NYSDOH (NY州保健局), ASCLD/LAB-International (米国犯罪捜査機関理事組合/研究機関認可委員会)